

180	179	178	177	176	175	174	173	172	171	170	169	168	167	166	165	164	163	162	161
負けるが勝ち	まかぬ種は生えぬ	骨折れ損のくたびれもうけ	仏の顔も三度	仏作って魂入れず	ペンは剣よりも強し	蛇ににらまれた蛙	下手の横好き	下手の考え休むに似たり	下手な鉄砲も数撃ちや当たる	豚に真珠	笛吹けども踊らず	夫婦喧嘩は犬も食わない	貧乏暇なし	貧すれば鈍する	ひょうたんから駒が出る	百害あって一利なし	火のない所に煙は立たぬ	人を見たら泥棒と思え	人を呪わば穴二つ
コ	チ	キ	ト	ケ	エ	ソ	ス	シ	イ	ウ	ツ	テ	サ	タ	オ	セ	カ	ア	ク

解答

ト	テ	ツ	チ	タ	ソ	セ	ス	シ	サ	コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
後には怒りだすということ。	どんなに温厚な人でも、何回もひどいことをされると、最後には怒りだすということ。	準備を整えて、さかんに誘っているのに、誰もそれに応じようとしないことのとたとえ。	結果があるからには必ず原因がある。努力なくしてよい結果は出ないということ。	貧しくなると頭も鈍くなる。	強敵や苦手なものなどの前で、恐ろしさから身がすくみ、動けない様子。	害になることばかりあって、利益になるような良いことが何もないこと。	下手なくせに、そのことをするのが好きで熱中すること。	良い考えが浮かばないのに長い時間考えるのは、時間の無駄だということ。	貧乏な人は生活に追われ、暇がないということ。	争わず、あえて勝ちを譲ることで、一時的には負けていても、結果的に有利になり、勝ちにつながるということ。	苦勞して完成させた物事に、一番大事なところが抜けていて、役に立たないこと。	他人に害を与えようとすれば、やがて自分もその報いを受けるということ。	苦勞したのに成果が出ず、徒勞に終わってしまうこと。	噂をされるからには、必ず何かの原因、事実があるだろうということ。	思いがけないところから意外なものが出る。冗談が現実となる。	優れた文章は世の人々を動かし、武力よりも強い力を持つということ。	価値のわからない人に貴重な品を与えても、何の役にも立たないことのとたとえ。	何度もあれこれ試してみれば、偶然うまくいくこともあるということ。	他人を簡単に信用してはいけない。まずは用心しろということ。

記号